

【参考：補助金交付申請の提出書類一覧】

- 1 事業計画書（様式第3号）
- 2 収支予算書（様式第4号）
- 3 団体規約（規約がない場合は、団体の活動目的、活動概要がわかるチラシ・パンフレット、年間計画等）
- 4 構成員名簿（主要な構成員（10名以内）の氏名及び事業において果たす役割に係るもの）
- 5 取組みが将来にわたって継続していくための計画書（実施体制、財源確保の方策を記載したもの）
- 6 対象経費に工事請負費がある場合、
 - (1) 工事前・後の平面図、配置図及び改修を加える箇所の工事前（後）写真（工事後は実績報告時）
 - (2) 対象となる敷地・建物が自己所有でない場合は、貸主の同意が確認できる書類
- 7 （申請者が未成年の場合のみ）申請者の法定代理人による同意書
- 8 その他申請事業の参考となる資料

1 事業計画書（様式第3号）

(1) 応募(申請)者

応募(申請)者の住所、団体名称、代表者のお名前を記入してください。(押印は任意です。)

(2) 事業の名称

事業内容をもとに、名称を端的に表してください。(目安13文字～29文字)

(3) 事業の目的

事業実施することで実現しようとするを、解決したい地域課題や住民ニーズ、本事業が地域や社会に与える影響や効果等についても含めて記載してください。(300字程度)

例) 住民が減って活気がなくなった地域を盛り上げ、また将来的には地域に新たな人を呼び込むために、休止していた地域の「桜まつり」を再開するとともに、桜の苗木を植栽し桜の一大名所を目指す。
また、桜まつりと併せてウォーキング大会を実施し、地域住民の健康増進と、地域の魅力の再認識・発信に資する。

【事前審査の着眼点】「地域課題」、「公益性」(※別添「審査項目、審査の観点、配点及び加重」を参照ください。)

- 例) ・ 事業の背景にある地域課題を明確に認識し、またその課題が地域の実情に合っているか。
・ 活動内容が地域課題の解決につながるものとなっているか。
・ 活動内容が地域社会の持続又は地域の住民にとって貢献度が高いか。
・ 活動が申請者や一部の者の利益でなく、地域社会にとって利益となるものか。

(4) 実施体制

事業を実効性のあるものにするために、誰が事業を実施するか、どのような関係者と連携を行うかを記入してください。既に組織図等がある場合は添付いただき、「別添のとおり」と記入していただいても差し支えありません。

例) ○○を桜の一大名所に！プロジェクト実行委員会
会 長 ○○○○
副 会 長 ○○○○ (イベント実施に関する責任者)
会 員 ○○名 (役割分担を行い、事前の準備・広報、当日運営にあたる)
連携する団体 ○○○○
その他、桜まつりでは地域の町内会が当日運営の補助を行うとともに、桜の苗木の植栽は周辺地域の小学校、地域住民やボランティアに呼びかけ協力いただく予定。

【事前審査の着眼点】「地域資源・人材」、「顔の見えるネットワーク」、「計画の実現性」

- 例) ・ 地域資源又は人材の活用により、事業の効果を高めることが期待されるか。
・ 申請者がもっている、団体や個人との既存のネットワークを活用する活動になっているか。
・ 地域住民と連携をしながら行う活動になっているか。
・ 主体的に取組を行うための体制が整えられているか、又は体制整備が確実に見込まれるか。

(5) アドバイザー（共同実行者としてこの事業への助言、支援等を行う成人の方）

応募(申請)者が未成年の場合、記載してください。

事業計画・実施にあたり、助言・支援等を行う方（成人の方）の申請者との関係についてあてはまるものにチェックをしてください。また、申請団体等での役割、所属、氏名、連絡先を記入してください。

(6) 事業内容等

ア 事業内容

補助金を受けて実施する事業の内容を、「いつ、誰を対象に、どこで、何をどのように」実施するのが明確に分かるように具体的に記載してください。事業計画書や既存資料がある場合は、この欄には重要な部分のみを記入いただき、「別添資料参照」と記載して、関係書類を添付いただいても差し支えありません。(計画から、時期や会場が変更となる場合は、事前に相談してください。)

なお、十分な体制のもと取組を主体的に行い、計画を実現することがわかるように記載してください。「〇〇の実現に当たっては〇〇と〇〇が協力し、十分な人数が確保できている」のように、「どのように」「誰が」等を組み合わせせて記載してください。また、身近な行政組織(市町村役場)との関係性、連携についても記載してください。

次の事項についても記載してください。

- ・ 他の団体等のモデルとなるような先駆性や話題性、今後どのように事業を継続していくか。
- ・ 感染症対策等のため、政府または県からの催物(イベント等)の開催制限等の要請があれば、要請に従い、開催の中止、延期又は規模縮小等の対応を行う。の□欄に✓を記入してください。

<イベント等を実施する場合>

例) 事業実施予定日：令和〇年〇月～〇月頃 計〇回
対象者：〇〇地区住民、〇〇地区近隣住民
参加予定人数：〇〇名(各回〇名)
開催場所：〇〇
事業概要：
・ 〇〇川土手を中心に、地区を巡る〇キロのウォーキングコースを設定し、桜とその他の地区の風景や、あまり知られていない名所を巡って楽しんでもらう。
・ コースはマップを作成し、その他の地区内の名所を巡っていただくきっかけとする。
・ 〇〇公園をゴールとして、完歩されたかたには老人会手作りの桜の花びらをあしらった参加記念証をプレゼントする。
・ また、ウォーキング参加者には「桜まつり」会場で使える割引券を配布し、会場での飲食や、お土産購買意欲の促進につなげる。
・ 桜の苗木を地域の小学校、住民、ボランティアに協力してもらい年間200本植栽し、5年後には千本以上の桜の名所としていく。今後は周辺地域住民のみではなく市民全体に植栽の参加を呼びかけるとともに、清掃活動も働きかけ、広く市民に親しまれる桜の一大名所を目指していく。
モデル性・継続性：近年開催できなかった地域のイベントを復活させ、青年部や婦人会、体育協会と連携することにより、実施体制を組織化している。今後、小・中学校と協力して、地区の風景や名所を対象とした絵画コンクール・展示会を開催するなど、地域の魅力を掘り起こしていく。
計画の実現性：「桜まつり」については、以前実施していた頃の備品などがあるため、新たな備品の調達は不要。運営については、青年部・婦人会などは町外のイベントに屋台を出店した実績がある。
「桜ウォーキング大会」については初めての試みのため、町の体育協会などと連携をし、事前の準備に務めるとともに、当日も救護所を開設し、医療関係者に待機してもらい不測の事態に備える。
事業完了予定日：令和〇年〇月〇日
□感染症対策等のため、政府または県から催物(イベント等)の開催制限等の要請があれば、要請に従い、開催の中止、延期又は規模縮小等の対応を行う。

<交流拠点を整備する場合>

例) 施設の所在地：〇〇市〇〇町〇〇
施設の現状：以前は診療所として使用、〇〇年から空き家
修繕内容：キッチン新設、玄関スロープの設置
着手予定日：令和〇〇年〇月 下旬
事業概要：
・ 日替わりオーナーによる食事提供(毎週月～金)、学習支援(毎週月～金)などを通じて、地域のお年寄りや、小学生の交流の場とする。
・ また、月2回(第1、3日曜日)には、地域のお年寄りを講師にした郷土料理教室、季節に応じたイベント等を実施し、他世代間交流を行う(別添計画書参照)。
モデル性・継続性：空き家を活用した多世代交流の場づくり事業として学習支援や料理教室等を継続するほか、夏祭りやクリスマス会などの季節ごとに多くの地域の人たちが集まることができるイベントを企画し、世代を超えた取組ができる事業を展開していく。
事業完了予定日：令和〇年〇月〇日
□感染症対策等のため、政府または県から催物(イベント等)の開催制限等の要請があれば、要請に従い、開催の中止、延期又は規模縮小等の対応を行う。

※ 県内産業の振興のため、補助事業に伴う発注先をできる限り県内事業者にしていただくようお願いしています。対象経費が工事請負費又は委託費の場合で、県内事業者への発注が困難な場合は、その理由を事業内容の欄に記載していただきます。発注が難しい場合は、事前に相談をしてください。

イ 返礼品

寄附された方への返礼品について、「あり」又は「なし」のいずれかの□に✓印をし、「あり」の場合は返礼品の内容を記入してください。

【事前審査の着眼点】「計画の実現性」

- 例) ・ 活動実施のための具体的な場所、手段が示され、必要なノウハウが備わった計画になっているか。
- ・ 活動実施のための具体的なスケジュールが示されているか。

(7) 他の補助金等の活用の有無

本事業において活用する予定の他の補助金、助成金等があれば、その名称、事業内容及び助成元の部署・団体名を記載してください。

例) ○○町補助金（ふるさと再生補助金）30,000円（※申請予定）

(8) 過去3年間の活動実績

団体として過去3年間に取り組んだ活動実績（時期及び活動内容）及び令和新時代創造県民運動推進補助金〔令和元年7月4日以前のトットリズム推進補助金〕の活用実績を記載してください。

近年の全ての取組を記載いただく必要はありません。年間の活動報告などがある場合は、それを「別紙参照」として添付していただいても差し支えありません。今までの取組を記載することで、申請事業の「計画の実現性」（実績のある団体の方が、実現性は高いと評価されやすくなります）や「個別項目」（過去の事業と比べて、新たな工夫や展開が見られるほうが評価されやすくなります）の参考となります。

例) 平成30年度 9月 ○○町農林水産祭への出店（地区特産品やおこわの販売。6団体の出店）
令和元年度 9月 ○○町農林水産祭への出店（地区特産品や新製品の販売。11団体の出店）
令和2年度 ○○○事業で令和新時代創造県民運動推進補助金スタートアップ型（スタート支援）活用

(9) 関係法令の遵守

関係法令の遵守を確認のうえ、□欄に✓を入れてください。事業を実施するにあたり、関係法令を遵守していただくための注意喚起です。関係法令等の例は、募集要項を参照してください。

(10) 令和新時代創造県民運動実践団体への登録

該当する□欄に✓を入れてください。（※既に実践団体に登録している場合は、「登録済」に✓を入れてください。）

- 令和新時代創造県民運動推進補助金を活用して事業に取り組む団体は、特段の支障がない限り令和新時代創造県民運動実践団体として登録いただき、地域づくりに関する各種情報の収集、発信などにより効果的な地域づくり活動に取り組んでいただくこととしています。
- 令和新時代創造県民運動実践団体に登録することで、自身の団体のイベント情報、ボランティア募集情報、団体情報等を当課が運営する令和新時代創造県民運動サイトに掲載し、情報発信することができます。また希望により各種助成金情報、イベント情報等のメルマガ配信も可能です。
- 登録は右のURLから可能です。https://tottorism.pref.tottori.jp/login_menu.php

(11) 消費税の取扱い

該当する区分にの□欄に✓を入れてください。

- 一般課税事業者 基準期間（前々事業年度）の課税売上高が1,000万円を超える事業者
- 簡易課税事業者 課税事業者の中で前々年の課税売上高が5,000万円以下であり、簡易課税制度を選択した事業者
- 免税事業者 基準期間（前々事業年度）の課税売上高が1,000万円以下で特定期間の課税売上高もしくは支払った給与等の金額が1,000万円以下の事業者

(12) 担当者連絡先

申請書の内容についての問合せや相談に対応いただける方のお名前と、平日・日中に連絡がとれる連絡先を記入してください。必ずしも代表の方の連絡先を記載する必要はありません。

(13) 会計責任者連絡先

「5. アドバイザー」と「同じ」又は「異なる」のいずれかに✓印をし、「異なる」を選択した場合のみ、その方の連絡先を記載してください。会計責任者は、この補助金の管理等、会計全般を担っていただきます。

※ 申請者が未成年の場合、補助金は法定代理人に支払うことを基本としますが、会計責任者を学校の課外活動を担当する教員等が担う場合は、補助金の受領を教諭等に委任できるものとします。（法定代理人から委任状が必要）その場合は、教員等の連絡先を記載してください。

※ 申請者が成人の場合の会計責任者は、申請者でも申請者以外の成人の方でも差し支えありません。

2 収支予算書（様式第4号）

参加費、その他の収入がない場合 ⇒記載例1参照

参加費、その他収入がある場合 ⇒記載例2参照

補助対象外経費がある場合 ⇒記載例3参照

記載例1（参加費、その他の収入がない場合）

様式第4号（第10条関係）

令和〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助（とっとりドリーム型）事業収支予算書

収入の部

（単位：円）

区分	予算額	積算内訳
県補助金	500,000	令和新時代創造県民運動推進補助金（とっとりドリーム型）
自己資金	66,400	会繰越金より 16,400円 賛助会費より 50,000円
参加費① （入場料、出展料等）		
その他の収入② 〔民間・市町村助成金、 販売収入等〕		
合計	566,400	

事前審査通過通知書
「4補助金予定額
（見込み）」の金額を
記入してください。

NPO法人の賛助会費等、団体の活動全般に
対する寄付（協賛金）や補助金は自己資金。
当該事業を実施するための寄付（協賛金）
や補助金はその他収入となります。

支出の部

（単位：円）

区分	予算額	積算内訳
補助対象経費	謝金	110,000 ウォーキング大会救護所看護師 5,000円×2名=10,000円 桜まつりアトラクション出演者謝金(5人) 100,000
	委託料	30,000 ウォーキングマップデザイン料（業者に依頼）
	印刷製本費	30,000 チラシ A4コピー 10円×1,000枚 ウォーキングマップ印刷費 20円×1,000枚（業者に依頼）
	保険料	50,000 レクリエーション活動保険料（ウォーキング参加者） 500円×100人
	使用料	100,000 桜まつり音響設備 100,000円
	消耗品費	146,400 文房具：6,400（概算）円、 ウォーキング大会案内看板：4,000円×5枚=20,000円、子ども会ぼんぼり作成材料費（概算）：30,000円、 老人会参加記念証作成材料費（概算）：5,000円、割引券作成材料費（概算）：5,000円、参加者振る舞い汁材料費（概算）：80,000円
	原材料費	100,000 桜の苗木 500円×200本
	補助対象経費計③	566,400
外経費		
補助対象外経費計	0	
合計	566,400	

補助対象外経費（例 会員の飲食代など）がある場合は記入してください。

○支出の区分は、募集要項の例を参考としてください。

○経費について、事前に見積等で確認をするなど、不足することがないように積算してください。（概算可）

ただし、明らかに過剰な積算や、事業に必要なあるいは効果的とは思えない支出が含まれる場合は「補助金の有効活用」の評価に影響します。

○予算額の内訳について説明できるよう、単価や数量をできる限り記載してください。

○委託費、工事請負費については、原則として、県内事業者への発注を要件とします。県外事業者へ発注する際は事前に相談のうえ、理由書を提出してください。

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 566,400 円

記載例1における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③566,400円 - (参加費①0円 + その他の収入②0円) = 566,400円

※参加費、その他収入は無いので減算は0となります。自己資金は減算しません。

記載例2（参加費、その他の収入がある場合）

様式第4号（第10条関係）

令和〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助（とっとりドリーム型）事業収支予算書

収入の部

（単位：円）

区 分	予算額	積算内訳
県 補 助 金	500,000	令和新時代創造県民運動推進補助金（とっとりドリーム型）
自 己 資 金	1,400	会繰越金より 1,400円
参 加 費 ① （入場料、出展料等）	50,000	ウォーキング参加料 一人500円×100人 =50,000円
その他の収入 ② 〔民間・市町村助成金、 販売収入等〕	15,000	〇〇町補助金（ふるさと再生補助金）15,000円
合 計	566,400	

事業実施にあたって見込まれる全ての収入について記載してください。今後申請を予定している他の補助金やイベント等での販売・入場料収入なども、見込額で記載してください。

申請時よりも収入が増加した場合は、補助金額が減少する可能性があり、後日、補助金の返還を求められる場合があります。（実際にあった収入は適切に報告してください。）

支出の部

（単位：円）

区 分	予算額	積算内訳
補 助 対 象 経 費	謝金	110,000 ウォーキング大会救護所看護師 5,000円×2名=10,000円 桜まつりアトラクション出演者謝金(5人) 100,000
	委託料	30,000 ウォーキングマップデザイン料（業者に依頼）
	印刷製本費	30,000 チラシ A4コピー 10円×1,000枚 ウォーキングマップ印刷費 20円×1,000枚（業者に依頼）
	保険料	50,000 レクリエーション活動保険料（ウォーキング参加者） 500円×100人
	使用料	100,000 桜まつり音響設備 100,000円
	消耗品費	146,400 文房具：6,400（概算）円、ウォーキング大会案内看板：4,000円×5枚=20,000円、子ども会ぼんぼり作成材料費（概算）：30,000円、老人会参加記念証作成材料費（概算）：5,000円、割引券作成材料費（概算）：5,000円、参加者振る舞い汁材料費（概算）：80,000円
	原材料費	100,000 桜の苗木 500円×200本
	補助対象経費計 ③	566,400
外 経 費	なし	なし
	補助対象外経費計	0
合 計	566,400	

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) =

501,400

円

記載例2における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③ 566,400円 - (参加費① 50,000円 + その他の収入② 15,000円) = 501,400円

※参加費、その他収入があるので減算します。

記載例3 (補助対象外経費ある場合)

様式第4号 (第10条関係)

令和〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助 (とっとりドリーム型) 事業収支予算書

収入の部

(単位:円)

区分	予算額	積算内訳
県補助金	500,000	令和新時代創造県民運動推進補助金 (とっとりドリーム型)
自己資金	11,400	会繰越金より 11,400円
参加費① (入場料、出展料等)	50,000	ウォーキング参加料 一人500円×100人 =50,000円
その他の収入② (民間・市町村助成金、 販売収入等)	15,000	〇〇町補助金 (ふるさと再生補助金) 15,000円
合計	576,400	

支出の部

(単位:円)

区分	予算額	積算内訳
補助対象経費	謝金	ウォーキング大会救護所看護師 5,000円×2名=10,000円 桜まつりアトラクション出演者謝金(5人) 100,000
	委託料	ウォーキングマップデザイン料 (業者に依頼)
	印刷製本費	チラシ A4コピー 10円×1,000枚 ウォーキングマップ印刷費 20円×1,000枚 (業者に依頼)
	保険料	レクリエーション活動保険料 (ウォーキング参加者) 500円×100人
	使用料	桜まつり音響設備 100,000円
	消耗品費	文房具: 6,400 (概算) 円、ウォーキング大会案内看板: 4,000円×5枚=20,000円、子ども会ぼんぼり作成材料費 (概算): 30,000円、老人会参加記念証作成材料費 (概算): 5,000円、割引券作成材料費 (概算): 5,000円、参加者振る舞い汁材料費 (概算): 80,000円
	原材料費	桜の苗木 500円×200本
	補助対象経費計③	566,400
補助対象外経費	食糧費	スタッフ昼食代 800円×10名
	交通費	スタッフ所有車両使用料 2000円
	補助対象外経費計	10,000
合計	576,400	

○食糧費については、活動団体内部の者に対する給付 (会議の茶菓、懇親会経費など) は対象外ですが、講師に提供する昼食等、必要最低限のものは対象となります。
○個人給付的な経費は対象外です。(講師への報償費及び旅費や団体構成員への委託費除く)

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 501,400 円

記載例3における算定基準額の算出の仕方は、
補助対象経費③ 566,400円 - (参加費① 50,000円 + その他の収入② 15,000円) = 501,400円
※補助対象外経費は含まずに算出します。